

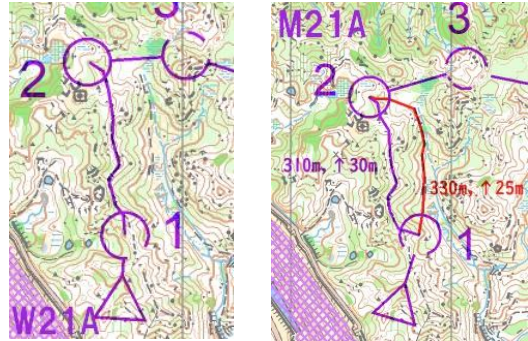
コース解説—一般クラス—

コース設定者の岩井龍之介です。まずはレースお疲れ様でした！

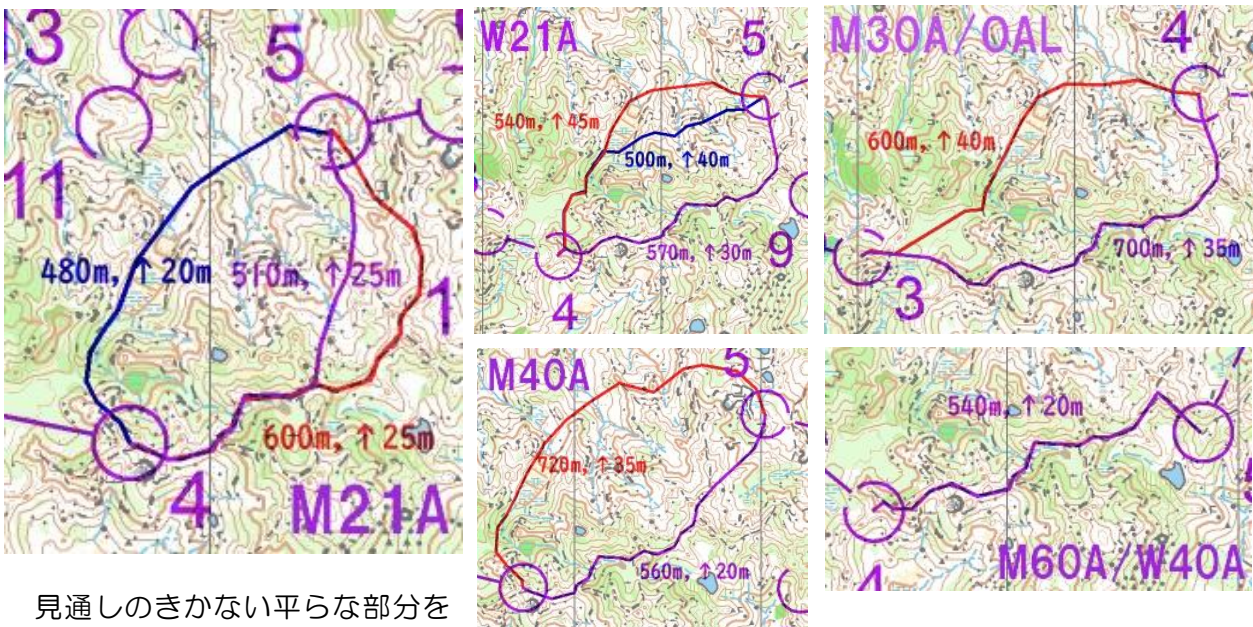
以下、簡単にですが今回のコースの設定意図や、一部のレッグを取り上げて解説をさせていただきます。紫がプランナー想定ルートです。

△→尾根北上

△からは尾根付近のコントロールを取りながら北に向かっていくクラスがほとんどですが、一部クラスでは東の沢に降りるものもあり、また M21A はルートチョイスのあるレッグを含んでいます。M21A の 1→2 は尾根ルート想定としましたが、意外とアップがかさむこともあって沢底に降りてしまうルートの方が速いかもしれません。



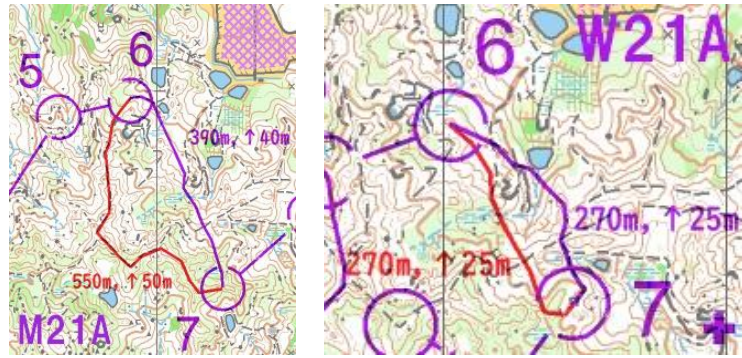
勝負レッグ 1 (西→東)



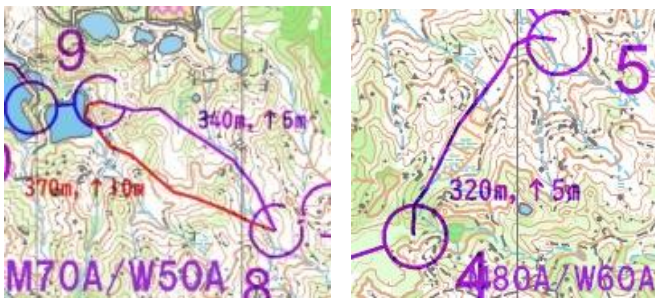
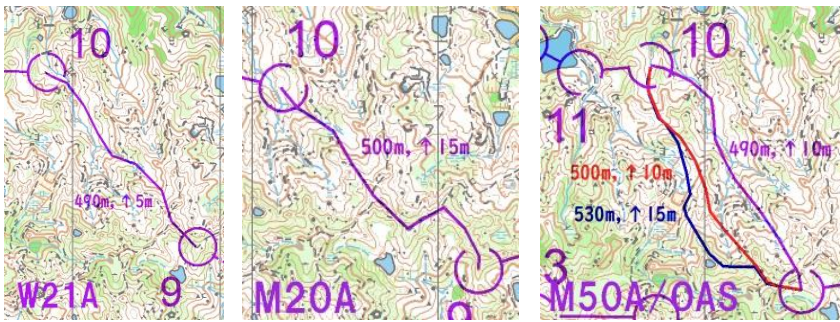
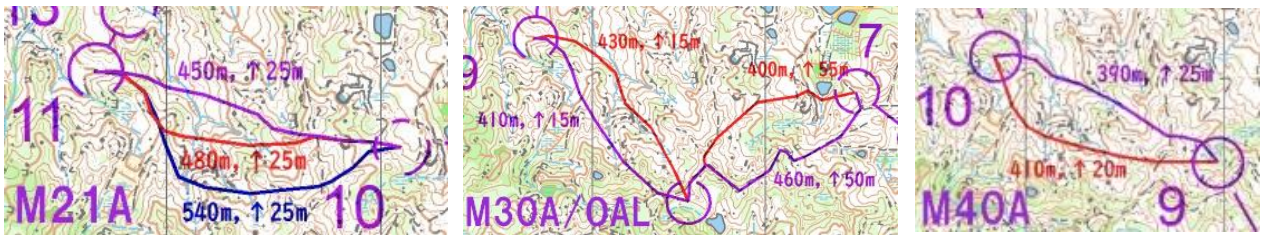
見通しのきかない平らな部分を抜けた後は、多くのクラスで西から東 or 北東に飛ばされる長めのレッグがあります。いずれも主尾根上の道を走れる右回りルートを想定ルートとしましたが、最後に登り返しがあるものの距離が縮む左回りルートも捨てがたいでしょう。テレインの特性上一度現在地を見失うとリロケートの難しい箇所が多く、丁寧な位置把握が求められる一方で上位を狙うためには大胆にスピードを出すことも必要になってきます。

平野東エリア

西側に比べ見通しもよく比較的平坦なエリアで、距離感やラフファインを切り替えることが求められるようになっていきます。一方細かい地形や見通しの悪い部分も混在するので注意が必要です。M21A など一部のクラスが通る一番東のエリアは平野の中でも随一の平らさと見通しを誇ります。



勝負レッグ2 (東→北)



平野東エリアでの短めのレッグが続いた後、北エリアの沢を一気に下る再び長めの勝負レッグで、ほぼ全てのクラスに存在します。あまり大きなルートチョイスはないもののアップを削るための慎重なルート取りが求められます。その他ラフな方向維持、そしてダウンヒル基調のレッグでいかに減速を抑えてトップスピードを維持できるかがポイントとなります。M20A や W21A では正しい沢を下ればコントロールに行き着く一方で、一部クラスでは最後まで現地を把握してアタックすることが必要となるようにしました。

いかがだったでしょうか。旧上桐生エリアに入ることを楽しみにしていた方には申し訳ないコース回しでしたが、平野ならではのスピードの緩急や、見通しの悪い森の中に時たま現れる神秘的な森を楽しんで頂けたのではないのでしょうか。もしそうであれば運営者として感無量です。

本大会ではこの解説の他、RouteGadget のシステムを利用して参加者のルートを共有してもらうことを予定しています。ぜひレースの復習にお役立てください！

あらためて、本大会へのご参加誠にありがとうございました！

コース設定者 岩井龍之介